は　じ　め　に

千葉市教育委員会
教育長　　長谷川　喜三郎

千葉市立加曽利貝塚博物館は、昭和４１年１１月に開館されました。

加曽利貝塚は、全国でも珍らしい８の字形をした、特異な形状と共に、日本最大の貝塚として古くから知られております。加曽利貝塚における発掘調査は、明治、大正時代以来幾度となく行われてきましたが、昭和30年代の京葉臨海地域における開発事業に伴ない、昭和39年より組織的な大発掘調査が、何回か行われました。

その結果、文化財としての重要性が再確認され、昭和45年度および52年度に、加曽利貝塚は、国の史跡に指定されました。

その後、博物館の調査研究活動も着々と進み、昭和43年度から「貝塚博物館紀要」誌上において、調査概報、資料研究および博物館の課題研究等について順次お知らせしてまいりました。

今回の紀要は、現在加曽利貝塚博物館で委託研究中の胎土分析による縄文土器研究概要や、市内の縄文時代遺跡の資料紹介、縄文時代の集落遺跡についての問題をとりあげましたので、ご高覧の上、御批正くだされば幸甚です。

本紀要が、考古学研究のために、また文化財保護のための参考資料として、広く活用されることを望みます。

昭和６１年３月